

たのですが、この9年間で自分自身の考え方も変化をする中で、段々と“自分のスーツを選ぶ基準”も大きく変わってきています。今月号のニューズレターでは私自身のワードローブを紹介させて頂きながら、私自身がスーツを選ぶ基準をどこに置いているのか？何をどのように選んでいるのか？を特集させて頂きたいと思えます。

春夏の装いの最も大きなキーワードは“涼しげ・清涼感”です。また秋冬の装いの最も大きなキーワードは“暖かみ・温もり”になります。夏は夏らしく、冬は冬らしく季節に合わせた装いすることが非常に大切です。このキーワードを視覚化した装いにする為に装いを構成する3要素(①生地②仕様③合わせ方)をそれぞれ説明をさせて頂きたいと思えます。

春夏

とがポイントです。軽い生地も色々ありますが、メッシュの、又モヘアと呼ばれるザラっとした素材の混ざったものとシワが戻りにくくなりますので、混紡率の低いものを

春夏

ように自分ブランドを創る為には“常に同じ形”を意識する地が通常の半分の“背抜き仕様”を暑い季節には選ばれる性が良く清涼感のあることが最も大きなメリットである反に比べて少し頑丈さが弱くなってしまうこと、そしてもう一つ。これはお持ちのスーツの数や使い方を考えながら仕様纏う“勝負用スーツ”であればシワになりにくい“総裏”のもの、もしくは季節に合わせて“背抜き”のものを使われるスーツに使うボタンも非常に重要です、使うボタンで季節ンや、薄い色目や光沢ある水牛ボタンなどがお勧めです。



◆ 生地

ウール素材の中でも秋冬用の少し分厚めの生地を、又深めの色を選ぶことがポイントです。秋冬用の生地も様々な種類がありますが、フランネルと呼ばれるフェルトっぽい触感の生地やカシミア、アルパカなどの獣毛と呼ばれる種類の生地は非常に保温性が高いのでオススメです。ただこうした生地は摩擦に弱いという特徴もありますので、必ずローテーションを守り1日着たら3、4日は休ませる様にしてください。

秋冬

◆ 仕様

私の場合は自分ブランディングの為に年間通して“スリーピース”を着ることを決めているのですが、夏は非常に暑いのでこれは一般の方にはなかなか難しいのではないかと思います。暑い季節であってもブランディングを目的に纏う場合はこのスリーピースをお勧めしますが、気温が下がる秋冬シーズンはこの“スリーピース”は全く問題ありません。オススメの理由は3つあります。ベストを着ることで保温性が上がること、中にベストを着ることでよりスーツが立体的に見えスタイルがより良く見え際立つ存在になること、そして経営者としての“品格・存在感”を増してくれるアイテムがスリーピースだからの3つの理由です。又秋冬シーズンのスーツには暖かみのある革ボタンや、濃い色目や艶消しのマットな質感の水牛ボタンがおすすめです。

秋冬



いるけれどもそれ以外のアイテムは年間通して同じものを使っている方も多いのではないかと思います。私もかつてはそうでした。しかし“経営者専門”で様々なことにより気を配ろうと考え、スーツ以外のアイテム(シャツ・靴・ネクタイ・ソックス)についても相応しい季節を考える様になりました。

春夏 秋冬

ネクタイ

タイは春夏用は麻やコットン素材のあるもの、秋冬用はニット素材や分シルク素材などを使い分けています。イの柄も色々ありますが、私が選無地柄/小紋柄/ペイズリー柄の3種です。様々な結び方がありますが、私的には全てシングルノットで仕上げしています。



春夏用

秋冬用

靴

最後に靴ですが、これも革の素材感で使い分けています。春夏はメッシュ等の清涼感のある革、秋冬はスエードなど暖かみのあるものです。スーツに合わせる靴は“ひもがついているもの”若しくは“モンクストラップ”で色は茶色が中心です。カジュアルなローファーはスーツには合わせず、ジャケットパンツかカジュアルスタイルの時だけにしています。



春夏用

秋冬用